

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年4月14日
【四半期会計期間】	第20期第3四半期（自 2019年12月1日 至 2020年2月29日）
【会社名】	サイバーステップ株式会社
【英訳名】	CyberStep, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 佐藤 類
【本店の所在の場所】	東京都杉並区和泉一丁目22番19号
【電話番号】	03-5355-2085（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 緒方 淳一
【最寄りの連絡場所】	東京都杉並区和泉一丁目22番19号
【電話番号】	03-5355-2085（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 緒方 淳一
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第19期 第3四半期 連結累計期間	第20期 第3四半期 連結累計期間	第19期
会計期間	自2018年 6月1日 至2019年 2月28日	自2019年 6月1日 至2020年 2月29日	自2018年 6月1日 至2019年 5月31日
売上高 (千円)	8,347,707	9,708,250	11,553,537
経常利益又は経常損失 () (千円)	80,455	553,334	84,710
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期(当期)純損失 () (千円)	407,691	492,932	303,749
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	402,705	487,589	277,172
純資産額 (千円)	3,332,530	4,862,490	3,762,910
総資産額 (千円)	4,308,146	5,924,292	4,784,971
1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期(当期)純損失 (円) ()	61.56	64.97	45.54
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	63.58	-
自己資本比率 (%)	74.1	81.2	75.9

回次	第19期 第3四半期 連結会計期間	第20期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自2018年 12月1日 至2019年 2月28日	自2019年 12月1日 至2020年 2月29日
1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失 (円) ()	39.38	26.66

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等を含めておりません。

3. 第19期第3四半期連結累計期間及び第19期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期(当期)純損失であるため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢の改善や個人消費の回復を背景に、引き続き緩やかな景気回復基調が見受けられたものの、中国経済の減速、米国発の貿易摩擦問題や新型コロナウイルスの感染拡大による影響等から依然として先行きは不透明な状況で推移しております。

わが国のオンラインゲーム市場においては、引き続きユーザー数は伸びているものの、提供タイトルが増加しており、ユーザーの獲得競争が続いております。また、ソーシャルネットワークサービスやWebブラウザゲームなどが幅広い層へと広がっており、引き続き事業環境の変化が続いております。

このような事業環境のもと、当社グループでは引き続き既存サービスの拡大及び収益性の向上に注力すると共に、培ってきた開発技術を応用した新規サービスの開発を進めてまいりました。

新規サービスにおいては、2020年1月16日にスマホで実機のパチンコ・パチスロを楽しめるアプリ「オンパチ」の試験サービスを開始いたしました。

既存サービスにおいては、「オンラインクレーンゲーム・トレバ」にて、より快適にプレイ頂けるサービス体制の構築やシステム面でのアップデートなど事業基盤の更なる強化に努めつつ、クリスマスや正月及び旧正月等に合わせた魅力的なアップデートやキャンペーンの実施に取り組んでまいりました。コスト面においても、引き続き配送・運営等に係る費用の削減や業務の見直しを進めることで、売上高及び利益面においても国内・海外共に好調に推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は9,708百万円となり、前年同期に比べ、16.3%の増収となりました。

利益面につきましては、営業利益600百万円（前年同期は営業損失4百万円）、経常利益553百万円（前年同期は経常損失80百万円）、税金等調整前四半期純利益584百万円（前年同期は税金等調整前四半期純損失353百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益492百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失407百万円）となりました。

当社グループはオンラインゲーム事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

(2) 財政状態の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,139百万円増加し、5,924百万円となりました。これは主に、現金及び預金293百万円、売掛金375百万円、貯蔵品605百万円の増加が生じたことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ39百万円増加し、1,061百万円となりました。これは主に、未払金116百万円の減少があった一方で、未払費用32百万円、未払法人税等95百万円の増加が生じたことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,099百万円増加し、4,862百万円となりました。これは主に、資本金352百万円、資本剰余金352百万円、利益剰余金492百万円の増加が生じたことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき事業上及び財務上の課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における研究開発活動の金額は165百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	19,400,000
計	19,400,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年2月29日)	提出日現在発行数(株) (2020年4月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	7,863,601	7,863,601	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は100 株であります。
計	7,863,601	7,863,601	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、2020年4月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2019年12月1日～ 2020年2月29日 (注)	93,800	7,863,601	26,541	2,502,653	26,541	1,567,443

(注)新株予約権の権利行使による増加であります。

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年11月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年2月29日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,767,300	77,673	-
単元未満株式	普通株式 2,401	-	-
発行済株式総数	7,769,801	-	-
総株主の議決権	-	77,673	-

(注) 単元未満株式の欄には、自己株式が99株含まれております。

【自己株式等】

2020年2月29日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
サイバーステップ株式会社	東京都杉並区和泉一丁目22番19号	100	-	100	0.00
計	-	100	-	100	0.00

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2019年12月1日から2020年2月29日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年6月1日から2020年2月29日まで）に係る四半期連結財務諸表について、アスカ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,430,734	2,724,267
売掛金	634,447	1,009,450
商品	2,064	-
仕掛品	8,979	-
貯蔵品	439,023	1,044,738
未収還付法人税等	18,315	-
その他	388,713	315,422
貸倒引当金	29,463	28,018
流動資産合計	3,892,814	5,065,859
固定資産		
有形固定資産	535,809	428,015
無形固定資産	113,047	206,587
投資その他の資産		
その他	264,290	243,820
貸倒引当金	20,990	19,990
投資その他の資産合計	243,300	223,830
固定資産合計	892,157	858,433
資産合計	4,784,971	5,924,292
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,209	1,573
1年内返済予定の長期借入金	23,031	16,668
未払金	699,319	582,989
未払費用	162,011	194,631
未払法人税等	20,886	115,951
預り金	24,967	34,281
その他	66,476	103,106
流動負債合計	997,902	1,049,200
固定負債		
長期借入金	13,886	1,385
退職給付に係る負債	10,272	11,217
固定負債合計	24,158	12,602
負債合計	1,022,061	1,061,802
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,149,809	2,502,653
新株式申込証拠金	13,395	-
資本剰余金	1,214,599	1,567,443
利益剰余金	214,743	707,675
自己株式	419	419
株主資本合計	3,592,127	4,777,353
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	38,332	32,989
その他の包括利益累計額合計	38,332	32,989
新株予約権	132,449	52,147
純資産合計	3,762,910	4,862,490
負債純資産合計	4,784,971	5,924,292

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)
売上高	8,347,707	9,708,250
売上原価	1,555,994	1,603,484
売上総利益	6,791,712	8,104,766
販売費及び一般管理費	6,796,102	7,504,477
営業利益又は営業損失()	4,389	600,289
営業外収益		
受取利息	327	1,594
出資分配金	8,046	8,605
その他	1,115	2,917
営業外収益合計	9,489	13,116
営業外費用		
支払利息	842	338
外国源泉税	17,168	18,435
出資金償却	15,254	23,724
為替差損	28,712	5,785
貸倒引当金繰入額	9,995	-
その他	13,582	11,789
営業外費用合計	85,554	60,071
経常利益又は経常損失()	80,455	553,334
特別利益		
新株予約権戻入益	873	29,092
関係会社株式売却益	-	4,999
特別利益合計	873	34,092
特別損失		
固定資産除却損	-	775
関係会社株式評価損	1,987	-
減損損失	271,943	2,341
特別損失合計	273,930	3,117
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	353,512	584,310
法人税、住民税及び事業税	54,178	91,377
法人税等合計	54,178	91,377
四半期純利益又は四半期純損失()	407,691	492,932
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失()	407,691	492,932

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)
四半期純利益又は四半期純損失()	407,691	492,932
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	4,986	5,343
その他の包括利益合計	4,986	5,343
四半期包括利益	402,705	487,589
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	402,705	487,589
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)
減価償却費	267,942千円	193,515千円

(株主資本等関係)

当第3四半期連結累計期間(自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

当第3四半期連結累計期間において、新株予約権の行使により、資本金及び資本剰余金はそれぞれ600,889千円増加しております。この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金は1,993,583千円、資本剰余金は1,058,373千円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

当第3四半期連結累計期間において、新株予約権の行使により、資本金及び資本剰余金はそれぞれ352,844千円増加しております。この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金は2,502,653千円、資本剰余金は1,567,443千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、オンラインゲーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)
(1) 1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失()	61円56銭	64円97銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失()(千円)	407,691	492,932
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失()(千円)	407,691	492,932
普通株式の期中平均株式数(株)	6,622,287	7,586,543
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	-	63円58銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	-	167,058
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年4月14日

サイバーステップ株式会社

取締役会 御中

アスカ監査法人

指 定 社 員 業 務 執 行 社 員	公認会計士	若 尾 典 邦
指 定 社 員 業 務 執 行 社 員	公認会計士	石 渡 裕 一 朗

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているサイバーステップ株式会社の2019年6月1日から2020年5月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2019年12月1日から2020年2月29日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年6月1日から2020年2月29日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、サイバーステップ株式会社及び連結子会社の2020年2月29日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）1．上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2．XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。